

# うつくしやま だより

学校の教育目標

自立をめざす生徒

～自分を生かし 社会に貢献できる人間に～

学校だより

R4. 2. 28

山県市立美山中学校

3年生の卒業まで1週間だなんて、どうしてこんなに時の流れは早いのでしょうか。人は時間の流れの速さを等しい感覚でつかんでいるわけではありません。友だちと遊ぶのが楽しくて仕方がないとき、大好きなアニメやドラマが最終回を迎えるとき、やっとテストの最後の問題まで来たのに残り時間あと3分というとき、どうしてこんなに時間は早く過ぎるのだろうと感じます。それなのに、苦手な授業を受けているとき、好きな番組が始まる直前に親にしかられているとき、1分間だけ静かに目をつぶっていなさいと言われたとき、どうしてこんなに時間はゆっくりと進むのだろうと感じます。時の流れを早く感じたときは、それだけ時間が充実していたということだと思います。今はとにかく無事に全員の進路決定ができ、無事に卒業式を挙行できることを祈るばかりです。

世界が大変なことになっています。前回の便りで話題にしたように、意見の対立や考えの違いは避けられないものもあります。だからこそ、どちらが正しいのかわからないような時は、とにかく

「話すこと」と「聞くこと」だと思うのです。特にむずかしいのが「聞くこと」です。何せ、自分が正しいと信じて疑わないのですから、それは相手が間違っていることになります。つまり、正しい自分が間違っている相手の意見を聞くことになるのですから、簡単にはできそうにもありません。ポイントは、「自分が正しいと思っていることを疑えるかどうか」と、「間違っている相手からも学ぶことはあると思えるかどうか」にあります。しかもこういうことは、自分がその対立から離れた立場にいるときはできますが、対立の中心にいるときは冷静になれないものです。そうして考えることが苦しくなってくると、相手を言い負かそうと語気が強くなったり、力でねじ伏せるしかないと考えたりしがちです。周りで起きている出来事を、自分にも照らし合わせることで、その対処の訓練になるかもしれません。私たちもじっくりと考えてみましょう。

<保護者の皆様へ>

どうとう3年生の卒業まであとわずかになってしまいました。新型コロナウイルス感染症の第6波はなかなか収まりを見せず、いわゆる高止まり状態で、山県市内の小中学校で自宅待機が増えているというのが現状です。3年生は公立高校の入試を控えている生徒が多くいますし、その後には卒業式もあります。何よりお子様や保護者の皆さまにはご心配な日々をお過ごしかとお察します。在校生も卒業生を送り出す準備をこの制限の中で何とか心を尽くそうとされています。とにかくお子様とご家族、職員の無事を祈るばかりです。



学校の雪かきをしてくれる3年生



ウクライナ10万人避難 国外脱出も 2/25(金) 9:19

読売新聞オンライン